平成14年度繊維学会年次大会のご紹介

「第1回繊維学会テキスタイル展—見直そう日本のテキスタイル—」が目玉です

Introduction of Annual Meeting of Sen'i Gakkai

柿 本 雅 明

繊維学会の年次大会は春から初夏のシーズンに虎ノ門の教育会館で開催されるのが常でした。ところが、数年前から教育会館の都合で開催できなくなり、たとえば平成11年幕張、平成12年京都、そして平成13年は東海支部のご努力により浜松で盛大に行われました。今回、平成14年の年次大会実行委員長を拝命し東京地区で会場を探したところ、京急蒲田駅前の大田区産業プラザで開催できる運びとなりました。この会場はなにより大変に交通の便がよいのがウレシイです。京急蒲田までは、東京駅からは品川で京浜急行に乗り換えて合計30分、羽田空港からは京急線1本で20分です。地方からご参加いただく皆様はぜひ飛行機で羽田へお越しください。会場の近くには食べ物屋や飲み屋が軒を連ね、手頃な値段のホテルもあります。

ロケーションは最高なのですが、会場の大田区産業プラザは少し手狭です。(年次大会の予算で使用できる会場)東京のなかでも交通の便が良いことを考え、少々使い勝手が悪い点は目をつぶることとしました。その結果、今まで全て口頭で行ってきた研究発表を一部ポスターとさせていただきますこととなります。具体的には、③繊維化学、④繊維・高分子素材(合成と性質)、⑪染料・染色・仕上加工、の化学系分野です。発表される皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが悪しからずご了承ください。今後、この会場を使用するのであれば、ポスター発表の分野はその都度変えるべきかと思っています。

平成14年度の年次大会は今まで通り「研究発表」と「シンポジウム」で構成され、シンポジウムでは「オプテックスとエレクトロニクス有機材料に関するシンポジウム」が国際シンポジウムになります。今回はこれらに加えて新しい試みをやることになりました。「第1回繊維学会テキスタイル展—見直そう日本のテキスタイル—」です。

繊維学会の年次大会や繊維学会誌を見回しますと、そこ

で目にする発表や論文は、繊維の科学技術では最も川上である素材に関するものが一番多く、繊維学会が繊維技術は大元から支えてきたのがわかります。しかし、世の中が以前と比べて軟弱になってきたことを考えると、もう少し繊維学会の守備範囲を広げて良いかもしれません。より繊維らしい分野の一つがテキスタイルであろうと思います。そこで今回、会社(大会社や地場産業を支えている少し小さい会社)、各地の試験場、大学の皆様にご参加いただき、自慢のテキスタイルを出展していただく展示会を開催することになりました。これらの中には会社の規模はさほど大きくはないのですが、日本よりも世界を相手に事業を展開している会社もあるかと思っています。また、伝統に根差した味わいのある作品が各地の試験場や会社から、さらには本邦初公開のユニークなテキスタイルも大学関係から出展されるかもしれません。なにしろ初めての試みですので基準がありません。玉石混合でもよいではありませんか。今年の「石」は来年の「玉」になることを信じてご参加ください。大いに盛り上がったイベントにしたいと考えています。幸い、大田区産業プラザにはモーターショーができそうな大展示場があり、ここで派手にやります。また、出展していただいた作品の中から斬新なアイデア、緻密なデザイン、極上の品質等の優れた作品に賞を差し上げたいと考えています。

「繊維学会テキスタイル展」は年次大会のイベントですが、これだけテキスタイルを一同に見ていただく機会もありないと考え、入場無料で一般の方にも見学していただき、「繊維学会」という名前だけでも覚えていただけたらと思っています。本誌読者のご家族も是非ご参加いただけたらと考えています。

MASA-AKI KAKIMOTO

東京工業大学大学院 理工学研究科
有機高分子物質専攻 教授 理学博士
〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1
Tel: 03-5734-2433
e-mail: mkakimoto@o.cc.titech.ac.jp
〈専門〉高分子合成、機能性高分子
〈趣味〉ゴルフ